

第 9 回

熊本県議会

決算特別委員会会議記録

令和3年11月30日

(令和2年度決算)

(決算の認否・報告案)

開 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

第9回 熊本県議会 決算特別委員会会議記録

令和3年11月30日（火曜日）

午前10時26分開議

午前10時34分閉会

本日の会議に付した事件

- 1 令和2年度一般会計、各特別会計、流域下水道事業会計、病院事業会計及び企業局3事業会計の決算認定等について
議案第36号 令和2年度熊本県一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第37号 令和2年度熊本県中小企業振興資金特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第38号 令和2年度熊本県母子父子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第39号 令和2年度熊本県収入証紙特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第40号 令和2年度熊本県立高等学校実習資金特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第41号 令和2年度熊本県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第42号 令和2年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第43号 令和2年度熊本県用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第44号 令和2年度熊本県育英資金等貸与特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第45号 令和2年度熊本県林業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第46号 令和2年度熊本県沿岸漁

業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第47号 令和2年度熊本市町村振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第48号 令和2年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第49号 令和2年度熊本県のチソン株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第50号 令和2年度熊本県公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第51号 令和2年度熊本県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第52号 令和2年度熊本県病院事業会計利益の処分及び決算の認定について

議案第53号 令和2年度熊本県電気事業会計決算の認定について

議案第54号 令和2年度熊本県工業用水道事業会計決算の認定について

議案第55号 令和2年度熊本県有料駐車場事業会計利益の処分及び決算の認定について

議案第56号 令和2年度熊本県流域下水道事業会計決算の認定について

2 決算特別委員長報告について

出席委員(12人)

委員長 瀧 上 陽 一
副委員長 増 永 慎一郎
委員 鎌 田 聡
委員 井 手 順 雄
委員 池 田 和 貴

委員 前田 憲 秀
 委員 松村 秀 逸
 委員 山本 伸 裕
 委員 高島 和 男
 委員 大平 雄 一
 委員 島田 稔
 委員 西村 尚 武
 欠席委員(なし)
 委員外議員(なし)

説明のため出席した者

知事公室

公室長 小 牧 裕 明
 政策調整監 天 野 誠 史

総務部

部 長 白 石 伸 一
 首席審議員兼人事課長 城 内 智 昭
 首席審議員兼財政課長 梅 川 日出樹

企画振興部

部 長 高 橋 太 朗
 企画課長 津 川 知 博

健康福祉部

部 長 早 田 章 子
 健康福祉政策課長 椎 葉 泰 三

環境生活部

部 長 藤 本 聡
 環境政策課長 江 橋 倫 明

商工労働部

部 長 三 輪 孝 之
 商工政策課長 市 川 弘 人

観光戦略部

部 長 寺 野 慎 吾
 観光交流政策課長 久 原 美樹子

農林水産部

部 長 竹 内 信 義
 首席審議員
 兼農林水産政策課長 深 川 元 樹

土木部

部 長 村 上 義 幸
 監理課長 森 山 哲 也

下水環境課長 仲 田 裕一郎
 出納局
 会計管理者兼出納局長 手 島 和 生
 企業局
 局 長 國 武 慎一郎
 総務経営課長 亀 丸 明 弘
 病院局
 病院事業管理者 渡 辺 克 淑
 総務経営課長 杉 本 良 一

教育委員会

教育長 古 閑 陽 一
 教育政策課長 井 藤 和 哉

警察本部

本部長 山 口 寛 峰
 理事官兼会計課長 田 中 弘 哉

人事委員会事務局

局 長 青 木 政 俊
 公務員課長 工 藤 真 裕

労働委員会事務局

局 長 谷 口 誠
 審査調整課長 舟 津 紀 明

議会事務局

局 長 手 島 伸 介
 次長兼総務課長 横 尾 徹 也

出納局職員出席者

首席審議員兼会計課長 永 江 昌 二

監査委員・同事務局職員出席者

監査委員 藤 井 一 恵
 局 長 西 浦 一 義
 首席審議員兼監査監 伊津野 裕 昭

事務局職員出席者

議事課主幹 宗 像 克 彦
 議事課主幹 山 本 さおり

午前10時26分開議

○淵上陽一委員長 それでは、ただいまから
 第9回決算特別委員会を開会いたします。

本日は、本委員会に付託されました各決算関係議案の採決と閉会日に行う委員長報告について審議をお願いいたします。

早速、議案の採決に入りますが、議案第52号及び第55号については、決算認定と併せて、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づく利益の処分について議決を求める内容となっておりますので、そのほかの議案と区分してお諮りいたします。

それではまず、議案第36号から第51号まで、第53号、第54号及び第56号は、一括して採決したいと思いますのですが、御異議ありませんか。

（「異議なし」「異議あり」と呼ぶ者あり）

○山本伸裕委員 第36号、第41号、第43号、第54号については挙手で採決をお願いします。

○淵上陽一委員長 それでは、まず、議案第36号、第41号、第43号及び第54号について、挙手により採決いたします。

原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○淵上陽一委員長 挙手多数と認めます。よって議案第36号、第41号、第43号及び第54号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、残りの議案第37号外14件については、一括して採決いたします。原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○淵上陽一委員長 異議なしと認めます。よって、37号外14件は、原案のとおり認定することに決定いたしました。

それでは、次に、議案第52号及び第55号は、一括して採決したいと思いますのですが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○淵上陽一委員長 異議なしと認め、一括して採決いたします。議案第52号及び第55号は、原案のとおり可決及び認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、よって、議案第52号及び第55号は、原案のとおり可決及び認定することに決定いたしました。

次に、委員長報告についてお諮りいたします。

ただいまから委員長報告案を配付させます。

（資料配付）

○淵上陽一委員長 まず、章立てにつきましては、前回の委員会でお諮りしたとおりでございます。

「第1 審査方針」は、第2回委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

また、「第2 決算の概要」では、各会計の決算概要を簡単に記載しております。

「第3 歳入確保と予算執行」、「第4 施策推進上改善または検討を要する事項等」については、前回第8回の委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

「第5 結論」は、本日の採決結果に沿った内容となっております。

委員長報告は、この案のとおり行うこととしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○淵上陽一委員長 それでは、そのように取り計らいます。

なお、軽微な字句の修正等がある場合は、私に一任していただいでよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○淵上陽一委員長 これで本委員会の審議は全て終了いたしました。

ここで、執行部を代表して、手島会計管理者に御挨拶をお願いします。

○手島会計管理者 執行部を代表いたしまして、一言お礼を申し上げます

令和2年度決算の認定につきましては、9月定例会に議案を上程して以来、本委員会におきまして、渚上委員長、増永副委員長をはじめ各委員の皆様方に熱心な御審議をいただきました。

9回にわたる御審議の上、本日、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算等につきまして、認定及び可決との御決定をいただきました。誠にありがとうございました。

委員長報告の歳入確保と予算執行では、収入未済の解消につきまして、貴重な自主財源の確保と県民負担の公平、公正の維持の観点から、費用対効果も踏まえ、効率的な徴収の促進に取り組むようにとの御指摘をいただきました。

また、予算の編成及び執行につきましては、限られた財源をより効果的に活用するためにも、現場の状況を的確に把握し、さらに工夫を重ねるようにとの御指摘をいただきました。

施策推進上改善または検討を要する事項等におきましては、共通事項として1項目、各部局別に10項目の計11項目につきまして御指摘をいただいたところでございます。

私ども執行部といたしましては、これらの御指摘、さらには各部局の審議の過程で御指導をいただきました事項に十分に留意しながら、適切な予算の執行を図るとともに、一層の財政健全化、財源確保に努めてまいり所存でございます。

委員の皆様方におかれましては、今後ともよろしく御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

○渚上陽一委員長 それでは、閉会に当たり私から御挨拶を申し上げます。

本日までに、9回にわたり決算特別委員会を開催してまいりました。委員の皆様には、熱心に御審議いただき、また、執行部においては、丁寧な説明により審議に御協力いただき、厚く御礼を申し上げます。

先ほど委員長報告でも触れておりますが、本県は、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨災害という三重苦の逆境の中にあつて厳しい財政運営を強いられておりますが、このような中、令和2年度の各会計の決算状況を審査し、各委員から多岐にわたる御発言がございました。収入未済の解消や経費の節減に努めることはもとよりではございますが、議決された予算については、目的とする事業効果の発現に向けてしっかりと執行することや、あるいは事業の一層の充実を求めるものも多く出されております。

執行部におかれては、委員長報告に取り上げられなかった意見も含めて、検討をお願いするとともに、限られた人員で大変な中ではありますが、お願いいたします。

最後になりますが、御協力いただきました委員の皆様、執行部の方々、そして補佐していただきました増永副委員長に対し、改めて心から感謝を申し上げ、閉会に当たっての御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

これをもちまして第9回決算特別委員会を閉会します。

大変お疲れさまでした。

午前10時34分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

決算特別委員会委員長